

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	そよかぜ学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】町田市成瀬7-11-1(南第二小学校敷地内) 【開設年月】1993年 【開所日時】月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】延床面積 231.86㎡ 【建物構造】軽量鉄骨造 平屋建て 【児童数】48名(2019年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	http://www.machida-gakudou.com/821		

(2)指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 町田市学童保育クラブの会	法人番号	8012305001202
指定管理者所在地	町田市中町1-19-5		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
保育中の子どもの事故防止のため、ヒヤリハット委員会にて事例の分析・検証を行う	2023年度	今後も引き続き事例検討を行い、危機・安全管理に努める。
個人面談を年に1回以上全家庭とを行い、子育て相談・支援を行う	2023年度	全家庭と面談を行うことができた。
学校と定期的に懇談を行い、教職員との情報共有、連携を強化する	2023年度	3学期に学年ごとに面談を行うことができた。

3. 昨年度の課題

内容	【利用者満足調査】 保護者会行事に関する項目については、満足度が75%を下回っていたので改善を指導した。
----	---

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、全体満足度については100%を達成するなど非常に質の高いサービスを提供していると判断できる。職員の資質向上に取り組んだことや、保育内容の見直しを行ったことが要因としてあげられる。昨年度の課題であった利用者満足度調査における保護者会行事に関する項目については、昨年度から10ポイント以上改善したが、75%を下回っていたため、更なる改善を指導した。 また、職員の人材育成や研修受講支援について、積極的に取り組んでいたことは評価できる。その他の業務履行状況・財務状況は要求水準を満たす運営を行っており、全体的に良好な運営を行っている判断し総合評価を「A」とした。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	・前年度同様研修に力を入れ、職員が積極的に参加し資質向上に努めた。 ・支援員会議と同日にケース会議を行い、気になる子どもの言動等の対応を支援員で確認、検討を行った。また、研修内容を共有するために学習会を行い、保育の質の向上に努めた。 ・子どものケガに繋がる、保育中に発生したヒヤリハット事例については専用のフォームに入力し、支援員間で共有し、数値を分析した。来年度以降も継続していく。 ・利用者アンケートの全体満足度は高い評価を得られた。保護者会行事に関する項目については保護者会と行事の見直しを行い、行事の目的を考慮しながら簡略化できるところを精査した。2018年度より微増したが引き続き課題とする。	

【評価対象年度 2019年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2019年9月 【登録児童数】 48名(調査月1日時点) 【配布枚数】 45枚 【回答数】 36枚 【回収率】 80.0% 【調査方法】 在籍児童の連絡帳等に入れ配布、回収箱に投函して提出
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 90%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	85%	100%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	85	85	85	85	85
実績値	100.0				

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の6項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 90%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	85%	92.4%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	85	85	85	85	85
実績値	92.4				

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	10回	14.0回	A	
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	10	10	10	10	10
実績値	14.0				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度において100%を達成しており、非常に質の高いサービスを提供していると判断でき、次年度以降も同様な結果が望まれる。アンケート回収率は75%を超えており、利用者の意見の聴取に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は10回を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	入会説明会の実施・入会のしおりを配布していた。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	お便りの配布、メール配信等を実施していた。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	実施報告書により、事業を適切に実施していることが確認できた。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	期日どおり適切に提出されていた。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	チェック表等により、適切に点検を実施していることが確認できた。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護に関する規定が整備されていた。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が適切に保管されていた。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開に関する規定が整備されていた。	適
要望対応	苦情対応体制の整備	苦情対応体制の構築	第三者委員が設置され、苦情対応の体制が構築されていた。	適
	苦情窓口の周知	意見・苦情を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が周知され、意見箱が設置されていた。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていた。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していた。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていた。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員を配置していた。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していた。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいた。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	管理運営経費の削減に取り組んでいた。	適
地元貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していた。	適
	市民雇用及び市内業者からの調達	町田市民の雇用又は市内業者からの調達	市民雇用、市内業者の利用に配慮していた。	適

【評価対象年度 2019年度】

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	年度	2019		2020		2021		2022		2023	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	23,655	23,066	15,545		15,782		15,983		16,231	
	特別育成料	264	347								
	雑収入	0	7								
	寄附等	0	0								
	計	23,919	23,420	15,545	0	15,782	0	15,983	0	16,231	0
支出	人件費	18,199	17,865	11,276		11,499		11,680		11,904	
	管理費	556	813	551		551		551		551	
	運営費	506	546	491		491		491		491	
	精算する経費	1,700	1,391	1,500		1,500		1,500		1,500	
	間接経費	2,958	1,974	1,727		1,741		1,761		1,785	
	計	23,919	22,589	15,545	0	15,782	0	15,983	0	16,231	0
総計(収入-支出)	0	831	0	0	0	0	0	0	0	0	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	1.3				
負債比率	39.4				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率・負債比率も適正な値であった。